



Figs. 2-3. Male genitalia of *Dysmilichia*,
2. *fukudai* sp. nov. 3. *gemella* (Leech).

is evidently an ally to *Dysmilichia gemella* (Leech), the type-species of this small genus, as the external (especially in truncate frontal prominence) and genitalic features show.

My acknowledgements are due to Dr. H. Kuroko, Messrs. H. Fukuda and S. Sakurai for their kind assistance in the material of this interesting moths.

摘 要

新種 *Dysmilichia fukudai* sp. nov. マルシロホシヒメヨトウ (新称) を記載した。新潟県新津市 (桜井精採集), 福井県武生市池泉 (福田久美採集), 福岡県彦山 (黒子浩採集) で9月中旬から10月中旬にかけて少数採集されている蛾で, 同属の *D. gemella* (Leech) モンオビヒメヨトウとはその斑紋により直ちに区別し得る。

ヒメヨツボシクサカゲロウの越冬

古 川 晴 男

1963年4月5日午前10時半ごろ, 自宅の庭で植木鉢に止まっていたヒメヨツボシクサカゲロウ *Chrysopa cognatella* Okamoto を捕えた。遠くから見ると, 夏のころとちがつて褐色に見えるので, 拡大鏡で精査したところ, 元来の緑色は色あせるのではなくて保たれているのだが, 胸側と腹部各 tergite に赤色色素 (Carotinoid か?) が出ているために, 遠目には褐色に見えるのである。頭部の黒斑のぐあいは, どう見なおしてもヒメヨツボシクサカゲロウで, アカスジクサカゲロウ *C. fuscifera* Okamoto ではない。また越冬の知られたアミメカゲロウ *Nacaura matsumurae* Okamoto でないことは, 翅脈を見ればすぐわかる。今年の早春時に, 小生の研究室の一学生が1頭を捕えて居り, その後にも1頭を見たので, 本日は同じものが, 同じ色彩で3頭も居たことになり, ヒメヨツボシクサカゲロウの成虫越冬はまず間違いないが, 二化性かどうかの問題は今後研究せらるべきである。